

福島県知事

佐藤 雄平 様

要 望 書

いわき市長

清水 敏男

## 全国植樹祭の開催地の誘致について

本市におきましては、森林資源の適切な保全と活用、森林環境教育の推進、地域材等の利用拡大などに努めることで、森林が有する公益的機能の発揮を図り、次世代に引き継げる森林・林業・木材産業を目指して参りました。

しかしながら、東日本大震災と原発事故により、農林水産物等が風評被害を受けているほか、森林整備や林業生産活動、森林<sup>もり</sup>づくり活動が停滞するなど、本市の林業は大きな影響を受けております。

このような中、第69回全国植樹祭を通して、福島県並びにふるさと いわきが元気で復興した姿を全国に発信することにより、福島県並びに本市のイメージの向上や交流人口の回復のほか、豊かな森を守り育て、次の世代に引き継いでいく絶好の契機となるものと期待しているところであります。

つきましては、次の理由により、平成30年に開催されます第69回全国植樹祭の主会場を本市に選定していただきますよう要望いたします。

[本市を主会場とする理由]

1. いわき市は東日本大震災により、約60kmにわたる白砂青松の海岸線の津波被害や9万棟を超える建物倒壊など甚大な被害を受けながらも、双葉郡などから約2万4千人の長期避難者を受け入れているところです。  
ついては、浜通りの復興拠点地域としての役割を期待されている本市から、福島県全体の復興の姿を国内外に発信することが極めて重要であること。
2. 海岸地域の復興の中で、防災緑地、メモリアルパークなどを整備することとしており、これらを植樹会場とすることにより、森林の再生、そして復興のシンボルとすることができること。
3. 本市には、日本有数の温泉地であるいわき湯本温泉や、大規模集客施設である21世紀の森公園があることから、全国植樹祭を受け入れることは十分に可能であること。
4. 本県における全国規模の行事では、これまで昭和45年の全国植樹祭が会津地区（猪苗代）で、平成11年の全国豊かな海づくり大会が相馬市で開催されており、震災後、この全国植樹祭を機に天皇皇后両陛下に行幸啓賜り、このいわきの地から、国民に癒しと勇気を与えていただきたいこと。